



平成 19 年 6 月 22 日

各 位

会 社 名 東 新 住 建 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 深 川 堅 治
 (J A S D A Q ・ コ ー ド 1 7 5 4)
 問 合 せ 先
 役 職 ・ 氏 名 常 務 取 締 役 中 島 義 之
 經 営 推 進 本 部 長
 電 話 0 5 8 7 - 2 3 - 0 0 1 1

平成 19 年 6 月 通 期 (連 結 ・ 個 別) 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成 19 年 6 月 期 (平成 18 年 7 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日) の業績予想につきまして、平成 19 年 2 月 9 日付当社「平成 19 年 6 月 期 中 間 決 算 短 信 (連 結) 」 お よ び 同 日 付 当 社 「 平 成 19 年 6 月 期 個 別 中 間 財 務 諸 表 の 概 要 」 に て 発 表 いた した 業績 予 想 を 下 記 の と お り 修 正 いた します。

記

- 1 . 平 成 19 年 6 月 期 通 期 連 結 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平 成 18 年 7 月 1 日 ~ 平 成 19 年 6 月 30 日)
 (単 位 : 百 万 円 、 %)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	1 1 0 , 7 0 1	2 , 5 2 3	1 , 0 4 6
今 回 修 正 予 想 (B)	1 0 2 , 0 0 0	9 2 0	5 0
増 減 額 (B - A)	8 , 7 0 1	1 , 6 0 3	9 9 6
増 減 率 (%)	7 . 9 %	6 3 . 5 %	9 5 . 2 %
(ご 参 考) 前 期 実 績 (平 成 18 年 6 月 期)	9 0 , 8 5 7	1 , 2 5 5	1 4 7

- 2 . 平 成 19 年 6 月 期 通 期 個 別 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平 成 18 年 7 月 1 日 ~ 平 成 19 年 6 月 30 日)
 (単 位 : 百 万 円 、 %)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	9 9 , 6 4 8	2 , 4 6 6	1 , 0 9 4
今 回 修 正 予 想 (B)	9 4 , 2 0 0	1 , 3 2 0	4 5 0
増 減 額 (B - A)	5 , 4 4 8	1 , 1 4 6	6 4 4
増 減 率 (%)	5 . 5 %	4 6 . 5 %	5 8 . 9 %
(ご 参 考) 前 期 実 績 (平 成 18 年 6 月 期)	8 4 , 8 4 1	1 , 3 6 8	1 1 0

3. 修正の理由

(連結)

売上高につきましては、主に住宅建築請負事業において、競合他社との販売競争の激化により、受注高が当初予想を下回ったことなどにより、売上高が減少し、当初予想を87億1百万円下回り、1,020億円となる見通しであります。

経常利益につきましては、売上高が減少したこと、地価の上昇による仕入コストの増加および建築資材の高騰といった原価の上昇要因を販売価格に転嫁できず、売上総利益率の低下を招いたことなどにより、経常利益は当初予想を16億3百万円下回り、9億20百万円となる見通しであります。

当期純利益につきましては、経常利益が減少したことにより、当初予想を9億96百万円下回り50百万円となる見通しであります。

(個別)

主な修正要因は連結に記載の通りであります。

売上高につきましては、主に住宅建築請負部門において、競合他社との販売競争の激化により、受注高が当初予想を下回ったことなどにより、売上高が減少し、当初予想を54億48百万円下回り、942億円となる見通しであります。

経常利益につきましては、売上高が減少したこと、地価の上昇による仕入コストの増加および建築資材の高騰といった原価の上昇要因を販売価格に転嫁できず、売上総利益率の低下を招いたことなどにより、経常利益は当初予想を11億46百万円下回り、13億20百万円となる見通しであります。

当期純利益につきましては、経常利益が減少したことにより、当初予想を6億44百万円下回り4億50百万円となる見通しであります。

以 上